学校番号	3017

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「詳述公共」（実教出版）						
副教材等	「公共　演習ノート」（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

社会を生きる一員としての素質と教養を養いましょう。グループ学習などさまざまな取り組み方法があるので、一緒に作っていきましょう。
教科書や資料を読んで調べ考え、話し合ったりして、導き出していく態度を身につけましょう。
空欄を支持された語句で埋めていくことは学習ではありません。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し，諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
現実社会の諸課題の解決に向けて，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に，国家及び社会の担い手として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	第1編公共の扉	″第1章社会を作る私たち″ 1. 生涯における青年期の意義 ″2. 自己形成の課題(1) 3. 自己形成の課題(2)″ 4. 職業生活と社会参加 5. 伝統・文化と私たち ″第2章人間としてよく生きる″ 1. 古代ギリシアの人間観 2. 科学と人間 3. 自由の実現 4. 社会を作る人間	a: 自らの体験などを振り返ることを通して，自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 b: 社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく，地域社会などの様々な集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し，表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	単元テスト 小テスト	提出課題 授業発表	授業態度 提出課題

		″第3章他者とともに生きる″ 1. 人間と幸福 2. 公正な社会をめざして ″第4章民主社会の倫理″ 1. 人間の尊厳と平等 2. 自由・権利と責任・義務	a: 人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること，伝統や文化，先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して，自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 b: 倫理的価値の判断において，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し，表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。	単元テスト 小テスト	提出課題 授業発表	授業態度 提出課題

2		″第5章民主国家における基本原理″″ 1. 民主政治の成立 2. 民主政治の基本原理 3. 民主政治のしくみと課題 4. 世界の主な政治制度	a: 各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して，人間の尊厳と平等，協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが，公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 b: 公共的な空間における基本的原理について，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	単元テスト 小テスト	提出課題 授業発表	授業態度 提出課題
	第2編　よりよい社会の形成に参加する私たち	″第1章日本国憲法の基本的性格″ 1. 日本国憲法の成立 2. 日本国憲法の基本的性格 3. 自由に生きる権利 4. 平等に生きる権利 5. 社会権と参政権・請求権 6. 新しい人権 7. 人権の広がりと公共の福祉 8. 平和主義とわが国の安全 9. こんにちの防衛問題 ″″第2章日本の政治機構と政治参加″″ 1. 政治機構と国会 2. 行政権と行政機能の拡大 3. 公正な裁判の保障 4. 地方自治と住民福祉 5. 政党政治 6. 選挙制度 7. 世論と政治参加	a: 法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，憲法の下，適正な手続きに則り，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解している。 b: 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，法や規範の意義及び役割，我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	単元テスト 小テスト	提出課題 授業発表	授業態度 提出課題

3		″第1章現代の経済社会″ 1. 経済主体と経済活動の意義 2. 経済社会の変容 3. 市場のしくみ 4. 市場の失敗 5. 現代の企業 6. 国民所得 7. 経済成長と国民の福祉 8. 金融の役割 9. 日本銀行の役割 10. 財政の役割と租税 11. 日本の財政の課題 ″第2章日本経済の特質と国民生活″ 1. 戦後日本経済の成長と課題 2. 転機に立つ日本経済 3. 経済社会の変化と中小企業 4. 農業と食料問題 5. 消費者問題 6. 公害の防止と環境保全 7. 労働問題と労働者の権利 8. 今日の労働問題 9. 社会保障の役割 10. 社会保障制度の課題	a: 雇用と労働問題，財政及び租税の役割，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，市場経済の機能と限界，金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 b: 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，雇用と労働問題，財政及び租税の役割，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，市場経済の機能と限界，金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	単元テスト 小テスト	提出課題 授業発表	授業態度 提出課題

		″第1章国際政治の動向と課題″ 1. 国際社会と国際法 2. 国際連合と国際協力 3. こんにちの国際政治 4. 人種･民族問題 5. 軍拡競争から軍縮へ 6. 国際平和と日本の役割 ″第2章国際経済の動向と課題″ 1. 貿易と国際収支 2. 外国為替市場のしくみ 3. 第二次世界大戦後の国際経済 4. 地域的経済統合の進展 5. 国際経済のつながりと課題 6. 発展途上国の諸課題と日本の役割	a: 国家主権, 領土（領海, 領空を含む。）, 我が国の安全保障と防衛, 国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に, 相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり, 国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること, 国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解している。 b: 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し, 合意形成や社会参画を視野に入れながら, その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを, 論拠をもって表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に, 多面的・多角的な考察や深い理解を通して, 国家主権, 領土（領海, 領空を含む。）, 我が国の安全保障と防衛, 国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	単元テスト 小テスト	提出課題 授業発表	授業態度 提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度